

受章おめでとうございます

話題

街にひろう

平成22年春の叙勲

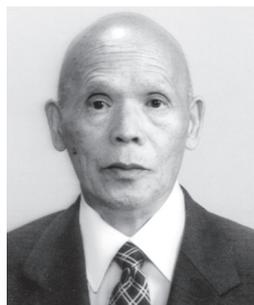
長年にわたり、社会のために尽力した叙勲受章者が発表され、市内では次の方々が受章しました。皆さん受章おめでとうございます。



瑞宝双光章
大久保 輝男さん
(元文部行政事務・信州大学経理部長)



旭日小綬章
神戸 礼子さん
(現(社)全国交通安全母の会連合会理事)



瑞宝双光章
齋藤 良和さん
(元参議院参事)



瑞宝双光章
小林 久雄さん
(元日野郵便局長)

第14回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

五利江 裕司さん
(元警視庁警視)



瑞宝双光章
兜森 隆春さん
(元東京消防庁消防正監)

瑞宝单光章

松本 和男さん
(元東京消防庁消防司令長)



瑞宝单光章
平林 光雄さん
(元東京消防庁消防司令)

瑞宝双光章

中川 元二さん
(元警視庁警部)



瑞宝单光章
田村 和治さん
(元警視庁)

※今回掲載した方以外にも一人の方が受章されていますが、本人のご希望により掲載していません。



山本氏が恩賜賞・日本芸術院賞受賞

市内在住の洋画家・山本文彦氏の「樹想」が、日本の芸術分野で最高の栄誉となる第66回日本芸術院賞第一部(美術)で、日本芸術院賞を受賞し、併せて恩賜賞を受賞しました。

筑波大学名誉教授でもある山本氏は洋画壇で広く活動されており、その作品は「安井賞」のほか、数多くのコンクール、顕彰などで高い評価を受けています。また同時に、後進の育成・文化芸術の普及発展にも尽力され、当市においても「うしく現代美術展」実行委員長(9〜11回)、「ピエンナーレうしく」特別顧問を務めるなど、多岐にわたって文化芸術振興に大きく貢献されています。



恩賜賞・日本芸術院賞を受賞した「樹想」

ひたち野うしく小学校開校式典

5月29日、4月に開校したひたち野うしく小学校で開校式典が行われました。式には、根本洋治市議会議長をはじめ、山岡恒夫県議会議長など多くの来賓が出席。

池辺勝幸市長は「ひたち野うしく小学校は地域開放型の学校です。児童の皆さんが明るく健やかに成長できるように全力で支えたい」とあいさつを述べ、校歌を作詞した中島清治氏、校章を制作した後藤雅宣氏に感謝状を贈りました。

同小学校の校歌には、「微笑みを絶やさず進む」、「助け合い励まし合って今日も又明るく生きる」、「青空にでっかく描こう虹色の希



校歌を斉唱する児童たち



池辺市長から校旗とスタンドを受け取った松崎さん(写真左)と長田さん(写真右)

望と夢を」といった作詞がされ、児童たちが明るく健やかに学校生活を送れるように願いが込められています。児童たちは、このような願いの込められた校歌を元気に斉唱しました。

また、校旗授与では、池辺市長から6年生代表の松崎優也さんと長田諒輔さんに校旗とスタンドが渡されました(右写真)。二人は真剣な面持ちで校旗とスタンドを受け取ると、ステージに掲げました。児童代表のひとり、3年生の増田妃菜さんは「学校の決まりを守り、笑顔あふれる素晴らしい学校にしたい」と作文を読み上げました。

ホギメディカル田植え

5月29日、井ノ岡町・奥原町地内で環境保全を図る目的として、昨年に引き続き、田植え作業が行われました。

この試みは、(株)ホギメディカル筑波工場の東側に隣接する谷津田を再生し、霞ヶ浦・北浦の水源保全と生態系の維持に役立てようという目的で、同事業所の社員およびその家族ら約140人が参加。

また、水田耕作や環境保全の知識や情報などを得るため、NPO法人アサザ基金も参画し、官民協働の事業として実施されました。

この日植えられた「コシヒカリ」や「日本晴」の苗は、秋に収穫され、今年も日本酒の原料になる予定です。



汗を流しながらの田植え作業

中根小学校児童が田植え

5月18日、絶好の天気にも恵まれ、

中根小学校の児童が田植えを行いました。(下写真)



この田植え集会は、保護者や地域の方々に支えられ、同小学校創立時代から続けられている行事です。ここ何年かは、児童数の増加に伴い、2・4・6年生が田植えを、1・3・5年生が稲刈りを体験しています。秋には、ここで収穫されたお米で全児童がもちつきを経験します。

この日は、6年生が下級生を手伝いながら作業を進めていました。作業を終えた6年生に聞くと、「下級生に『お姉ちゃん、やさしいね』と言われ、お手伝いのお母さんからは『さすが、6年生』と言われたことがうれしかった」と話していました。

楽しみながら社会実験



中学生による「城中太鼓」の演奏

6月6日、牛久駅東口の牛久ステーションパークで「駅前にぎわい広場」が開催されました。このイベントは、「牛久駅東口かつばつ化プロジェクト」に伴うにぎわいづくり社会実験②として、今年の1月31日に続き、第2回目の実験として行われたものです。今回は市民が主体となり、3月に実行委員会を立ち上げて実施したものです。

夏を思わせる陽気の中、牛久第三中学校の和太鼓部による「城中太鼓」の演奏を皮切りに、牛久剣友会による剣道、北辰一刀流実演、インディーズバンドによるコンサートが行われました。普段と

は違った雰囲気駅前には、多くの方が足を止め、駅前広場はにぎわいを見せました。

会場では地元産のトマトやキュウリなど、旬の野菜が販売されると、人気を集めて早々に売り切れる店もありました。

また、ホットドックやクレープのキッチンカーの出店もあり、大人から子どもまで楽しみながら、駅前のにぎわいづくりに参加しました。

初めて参加したという家族は「駅のポスターを見て遊びに来ました。いろいろなお店があり楽しい雰囲気ですね」と話していました。これからも皆さんの提案を生かして、にぎわう牛久駅前を目指します。



迫力のある剣道の演武

カナダの大学生が講義を受講



トーマスさん(写真前列右)と学生たち

5月25日、カナダのトンプリバーズ大学地理学部准教授のトーマス・ワルデチュックさんとその学生8人が牛久市を訪問しました。

トーマスさんは、筑波大学留学生として日本に来て以来、十数年にわたり、牛久市を対象とした研究論文を発表しています。今回の訪問は、「牛久市の都市計画」について池辺勝幸市長の講義を受講するため実現しました。

市長は、「まちづくりをする上で、住みやすさと自然との共存な

どさまざまな観点から都市計画を見直しています」と話していました。学生たちは、和やかな雰囲気の中でも、市長の熱心な説明に真剣にメモを取りながら、牛久の都市計画の歴史や農業、文化などについて、さまざま質問をしていました。

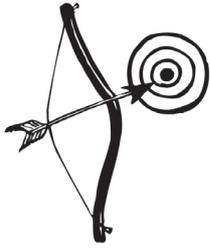
講義を受講した学生の一人、クリスタルさんは「牛久市は人口が増加しているものの、ビル開発が抑えられていて、家や畑などの自然が共存している。まちづくりを考える上で参考になった」と話していました。



熱心に池辺市長の説明を聞く学生たち

第7回牛久市遠的・近的弓道大会

スポーツチャンピオンフェスティバル2010



5月2日(日)
牛久運動広場多目的広場・弓道場
参加者81人(高校生53人、一般28人)

競技種目		高校の部	一般の部
遠的大会 60m	優勝	千葉公暉(牛久栄進高校)	高木勉
	準優勝	市来克也(牛久栄進高校)	野島健
	第3位	阿部眞也(東洋大附属牛久高校)	福嶋勝之
近的大会 28m	優勝	板垣里沙(牛久高校)	宮本和明
	準優勝	千葉公暉(牛久栄進高校)	野島健
	第3位	石塚理恵(牛久栄進高校)	渋谷輝男
高校団体 総合 (遠的+近的)	優勝	牛久栄進高校A (染谷・市来・岡野)	
	準優勝	牛久栄進高校F (長・松本・山口)	
	第3位	牛久栄進高校C (千葉・羽畑・平岡)	

(敬称略)

第4回常総市近隣春季学童野球大会優勝



優勝した刈谷イーグルス(上写真)

4月10日(土)、常総市で「第4回常総市近隣春季学童野球大会」が行われ、刈谷イーグルスが見事初出場で初優勝を成し遂げました。この大会では参加40チームが熱戦を繰り広げましたが、同チームは初戦から順調に勝ち進み、決勝で桜川市の大和ファイターズを破り栄冠を手に入れました。同チームは、5月に行われた「取手市近隣少年野球大会」でも優勝していて、今後の活躍から目が離せません!

第39回牛久市内春季親善野球大会



【Aブロック】

優勝 グリーンス(上写真)
準優勝 Forever
第3位 日本昔話、チームさくら



【Bブロック】

優勝 Nomercy (上写真)
準優勝 パープルナイン
第3位 アレジン、むつみ野球部

硬式テニスの結果発表

5月9日(日)、牛久運動公園テニスコートで「牛久市民硬式テニスミックスダブルス大会」を開催しました。

【1位トーナメント】優勝：吉成誠
晃・名畑美和、準優勝：川村賢司・
鯉永伊都子、第3位：池田和宏・小川
克子、第4位：岡田高志・前田栄子
【2位トーナメント】優勝：小松裕
輝・佐藤まり、準優勝：西村道夫・
西村祐子
【3位トーナメント】優勝：槌野直
弥・小杉尚子

(敬称略)

牛久市春季ソフトボール大会

5月9日(日)、栄町運動広場でドリンカーズの選手宣誓を皮切りに開戦。決勝は栄スピリッツが圧勝し、牛久市代表として県南大会出場権を獲得。優勝候補チームとして、活躍が期待されています。

ソフトボールメンバー募集

毎週土・日曜日に各地のグラウンドに集まり汗を流しています。運動不足解消・食欲増進に!地域のみんなと一緒に楽しみませんか?

問い合わせ 菊池(部長) ☎874・1480

平成21年度ふるさと牛久応援寄附の状況

「ふるさと牛久応援寄附制度」とは、牛久を応援していただける方から寄附を受け、指定の事業に活用させていただく制度です。このたび、平成21年度の寄附状況がまとまりましたので公表します。

1. 寄附金額 414万6,100円(21件)
2. 指定事業

事業の区分	指定額
(1)子育て日本一のまちづくり	247,000円
(2)ボランティア日本一のまちづくり	30,000円
(3)安全・安心日本一のまちづくり	184,100円
(4)牛久ワインビレッジ構想	20,000円
(5)図書館の充実	100,000円
(6)健康日本一のまちづくり	1,062,000円
(7)文化芸術	1,000,000円
(8)福祉の向上	503,000円
(9)農業後継者育成	1,000,000円
合 計	4,146,100円

いすなどの家具寄贈

6月4日、市内在住の山中秀剛さん(下写真)から、池辺勝幸市長にテーブル28台、いす45脚などの家具が寄贈されました。

寄贈された家具は、今後市内の公共施設などで利用される予定です。



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

ちょっと
休憩
びれいく

皆さんのお便りから

短歌・俳句・川柳コーナー



南・犬塚さん



ペンネーム・じゅんじゅんさん

晴れた空我が家の屋根でお湯が沸く

さくら台 二国さん

老いの恋と笑う人あり初夏近し

岡見町 匿名希望

お月さま心に沁みいる哀愁が

女化町 砂押さん

田植すみやつと一息農家達

刈谷町 小山さん

あやめ園嫁入り船の通る川

田宮 岡村さん

散歩道美しく咲いたバラの花

道行く人をたのしませ

岡見町 別府さん

二年後に咲くと言われしモッコウの

苗挿す我が手しばし見つめて

小坂町 穴戸さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。投稿の際は、電話番号の記入をお願いします。